広島県教育委員会　**NEWS RELEASE**

広島ならではの学びを通じて、
一人一人の個性や能力を見いだし、伸ばし、生きる力を育む

報道提供資料
令和８年11月４日
学校名　広島県立三原特別支援学校
担当者　高等部主事 沖本
電　話　0848-66-3030

三原特別支援学校高等部の生徒３名が、全国大会「第６回 CHALLENGE COFFEE BARISTA」での優勝を、コーヒーを淹れるバリスタ技術の実演とともに教育長に報告します！

三原特別支援学校は、「チャレンジコーヒーバリスタ」において、令和８年３月に行われたオンラインの予選会を突破し、全国から予選を通過した 10 チームのうちの１チームとして、全国大会「第６回 CHALLENGE COFFEE BARISTA」（令和８年９月 15 日（火）・東京品川プリンスホテルで実施）に出場しました。全国大会への出場は昨年度に引き続き２回目です。

その結果、優勝を始めとして様々な賞（チャンピオンビーン賞、ブレンド１位、スマイル賞、林賞）に輝きましたので、これまでの取組の成果を教育長に報告します。また、練習を重ねて培った全国大会出場のバリスタ技術の披露とともに、ブレンド審査で１位を獲得したコーヒー（AOHARU BLEND）を提供します。

１　教育長訪問について

（１）日時等　令和８年11月９日（月）13：00～13：30
県庁東館４階　教育長室

（２）訪問者
・生徒　高等部第３学年　小原（おはら）　公平（こうへい）、亀山（かめやま）　結菜（ゆいな）
高等部第２学年　島村（しまむら）　優希（ゆうき）
・教員　高等部主事　沖本、教諭　山本



２　「第６回 CHALLENGE COFFEE BARISTA」に向けた取組内容について

（１）審査項目は、ブレンド審査と技術審査の二つである。日ごろから作業学習や年に数回出店している「カフェいこい」などで磨いたスキルを更に進化させて大会に備えた。

（２）大会本部から送られてきた日ごろ飲んでいるものとは違う希少な豆を使用してのブレンド作業は大変苦戦した。

（３）今回のブレンドの基本コンセプトは「成長する青春」。ドキドキワクワクする気持ちを大切にし、新しいことへ挑戦する思いを込めて、豆の種類、イメージ、配合を次のとおりとした。

優しい口当たりのフェダール：挑戦への第一歩に必要な安心感（60%）
華やかな香りのマラゴジッペ：新しい世界へ踏み出す時のワクワク感（25%）
パカマラのコク　　：困難を乗り越えながら成長していく力強さ（15%）

【チャレンジコーヒーバリスタとは】

～すべての人の「ありのまま」を受け入れ、ともに働く社会を目指して～

一般社団法人 日本サステイナブルコーヒー協会が主催する定期イベントでイベント名称を「チャレンジコーヒーバリスタ」としております。障がいのある方たちのバリスタコンペティションを行い、「技術の向上」と「新しい雇用の創出」を目指すために開催しています。コーヒーを通して、障がいの有無に関わらず、すべての人がその人らしく活き活きと、命を輝かせて生活できる「インクルーシブな社会」となることを願い企画いたしました。

出典：チャレンジコーヒーバリスタホームページ